



卒業おめでとうございます 文武両道日本一を達成！！ 「自分に厳しく、やまない雨はない、他人に優しく」

(卒業式式辞より)

校長 山田武司

春の陽ざし感じられる中、本校で共に学び、共に生活した3年生が今日 3月18日に巣立っていきました。卒業式は、多くの来賓の方々や保護者、在校生の見守る中、3年間の集大成として静粛な中にも、卒業証書授与、歌、門出での言葉などで先生方へ、保護者の方へ、地域の方へそして共に過ごした仲間たちへの感謝の気持ちを表し本当に素晴らしいものでした。卒業生が新しい世界で活躍してくれることを期待します。

本年度もうすぐ終了となりますが、この一年間、保護者の皆様には、本校の教育につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。



卒業式校長式辞



春の訪れを感じられるこのよき日 西東京市教育委員会 教育委員 宮田清蔵 様をはじめ、大勢の来賓各位、保護者の皆様のご臨席のもとここに本校第37回の卒業証書授与式を盛大に挙行できますことに卒業生と共に厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

ただいま一人一人に渡した卒業証書は、中学校の全課程を修了した証明です。同時に、これで9カ年の義務教育を完全に終了したことになります。今日ここに卒業証書を手にすることができたことは、皆さん一人一人の努力はもちろんですが、自分一人の力で卒業できたものではありません。ご家族を始め皆さんを取り巻く多くの方が日夜、暖かい愛情と援助の手をさしのべ、はぐくんで下さったお陰です。これらのすべての人々に対し感謝の気持ち忘れずに下さい。

皆さんの学校生活を振り返ってみると、いろいろ思い出があります。3年前の4月皆さんと初めて会った入学式で、目を輝かせて大きな声で返事をした皆さんの姿は今でもはっきり覚えています。皆さんはその後も、その良さを、いろいろなところで発揮し成長し今日の卒業式を迎えました。

この3年間の皆さんの活躍や成長には実に大きなものがありました。文武両道で日本一になろうという目標の中、学校生活での礼儀正しさ、学習や部活動をはじめ何事にもまじめにコツコツ努力する姿、お互いに助け合い協力する姿は本当に素晴らしいものがあり、「文武両道日本一という山の頂上に登ることができました」と自信を持って言えます。皆さんは明保中学校で努力し素晴らしい成果を上げた3年間に自信を持ち新しい世界でさらに成長して欲しいと思います。また、素晴らしいことに、ここにいる卒業生全員が自分の進路を決めて、卒業式を迎えることができました。



皆さんは、本当に1、2年生はもちろん、保護者地域そして先生方の自慢であり、誇りです。ぜひ、自信と誇りを持ちこれからの人生歩んでいって下さい。

卒業に当たり、一言お話しします。それは、これからの新しい人生の心構えとして3つお話しします **まず、第一に「自分に厳しく」です。夢を持って、その夢に向かい自分に厳しく努力し大きく成長させ充実した人生を送って下さい。**

私の好きな言葉に、「散歩では富士山に登れない」という言葉があります。富士山に登るという目標は、その目標を持つこと、実現のため体力をつける訓練をかさね・必要な道具をそろえるなどしっかりした準備をした人だけが達成できる。と言うことです。ぜひ、自分の夢や希望を持ち、その夢に向かって自分を厳しく努力して下さい。「自分に厳しく」と言う気持ちを持ち実践することが自分の成長につながります。人はいくつになっても成長できます。昨日より今日、今日より明日と成長することが生きるという意味でもあります。ぜひ、「自分に厳しく」を忘れない自分の夢を実現して下さい。

そして、**第二は困難に出会ったとき「やまない雨はない」とプラス思考を持って欲しい**と言うことです。人生にはたくさんの喜びや生き甲斐があると同時に、一方では誰でも苦しみや悲しみや困難に遭遇することがあります。ノーベル賞を受賞した人や現在世界で活躍している多くの人が、時には挫折を味わいそれを「夢のために、我慢しよう少し頑張ろうと努力」をして乗り越えてきました。人生は自己との戦いでもあります。これから皆さんは、よりきびしい困難に出会うこともあるでしょう。真つ暗なトンネルにはいつてなかなか抜け出せないときもあると思います。そんなとき、思い出して下さい「**やまない雨はない**」と、プラス思考でもう一度気持ちを新たに、最後まで「逃げ出さない」「あきらめない」気持ちを持ち困難を克服して自分の夢を実現して欲しいと思います。

最後に「**他人に優しく**」です。「**相手のことを考え行動できる人になってほしい。**」ということです。

このことは人間が人間らしく生きていく基本だと思います。私たちはとすると自分本位に考え、うまく事が運ばないと、つい他人のせいにする傾向があります。相手を理解し、大切にすることがあれば、学校で起こっているいじめや広くは世界で起こっている戦争・紛争はなくなり世の中はもっともっと平和になるのではないのでしょうか。

先日、発生から5年目の東日本大震災で、なくなられた方のご冥福と早く復興できるようにみんなで黙祷を捧げました。日本は、これまでもお互いを思い合い、助け合いながら、幾たびかの困難も克服してきました。5年前の東日本大震災も、自分中心の考えを捨て「他人に優しく」の気持ちを持ち、助け合い・協力し合うことの大切さを改めて考えさせてくれました。皆さん「他人に優しく」という気持ちを持ち、平和で安心して暮らせる世の中を作して下さい。

卒業生の皆さん「**自分に厳しく、やまない雨はない、他人に優しく**」の言葉を胸に刻み、それぞれの道で活躍することを期待します。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の卒業おめでとうございます。立派に成長したお子様の晴れ姿に感激ひとしおのものがあるかと思えます。共に卒業生の限りない前途を祝し、私の式辞といたします。平成28年3月18日 明保中学校長 山田 武司

